

ふれあい

2026

3

No.468

牛久愛和総合病院 広報誌



新任のご挨拶

糖尿病・代謝内科 小野瀬 耕



はじめまして。2025年度から糖尿病・代謝内科として赴任いたしました。生まれて育ちも茨城県で、つくば市で生まれ、竹園高校を経て筑波大学へ進学し、医師になってからもこの地域とともに歩んでまいりました。

大学時代はラグビー部に所属し、仲間と汗を流す日々を過ごしました。今でも大学ラグビーの観戦に足を運ぶことがあり、母校である筑波大学を応援し続けています。現在は牛久市に住んでおり、ピシヨンフリーゼという犬種の愛犬を2匹飼っています。休日には2匹と一緒に牛久市内を散歩していることも多く、もしかししたら皆様とどこかでお会いしているかもしれません。見かけた際にはぜひお気軽にお声がけください。地域に根

差した医療を提供していきたくて考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

何かあった時に気軽に相談していただけるかかりつけ医としての役割を果たしていきたいと思っております。

糖尿病・代謝内科として担当する疾患は主に糖尿病と内分分泌疾患です。糖尿病は血糖値が高くなる病気で、放置すると目や腎臓、神経などに合併症を引き起こすことがあります。内分分泌疾患は、甲状腺や副腎などのホルモンのバランスが崩れることで起こるさまざまな病気を指します。どちらも一度罹患すると長い期間をかけて治療を続けていく必要があります。患者様とも長い付き合い合いとなることが多い分野です。患者様お一人おひとりの生活スタイルやご希望をしっかりと聞きし、それぞれに適した治療を提案することを心がけています。病気と上手に付き合いながら、その方らしい生活を送っていただけのようなサポートしたいと考えています。当院が掲げる理念の一つである高齢者医療に対しても真摯に取り組み、

最近、私が特に関心を持っているのが肥満症の治療です。以前は病気として積極的に治療されることが少なかった肥満症ですが、メタボリックシンドロームの概念が広まり、糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病を引き起こす重要な要因であるため、早めの介入が必要です。近年では注射剤となりますが減量効果のある新しい治療薬も登場し、大きな注目を集めています。私の外来でも、食事療法や運動療法に真剣に取り組む、見事に減量を達成された方がいらつしやいます。また、ご希望があれば減量効果のある治療薬の使用についてもご相談に応じています。体重のことでお悩みの方は、ぜひ一度病が気になる方は、ぜひ一度ご相談ください。皆様の健康をお守りするため、精一杯努めてまいります。



排尿ケアチームの話

泌尿器科 医長 俵 聡

排尿ケアチームは、すでに数多くの病院で導入されている「排尿に関わる」多職種連携チームです。当院では2024年12月より活動を開始しました。このチームの対象は、「尿道カテーテルを挿入している患者さん」になります。

先日院内研修会で報告した初期活動成績を報告します。対象期間は活動開始から6か月間です。平均年齢は80歳、性別差はなく、尿道カテーテル挿入理由としては、緊急入院時や手術時に厳密な尿量測定を目的とすることが多かったです。最終的には97%の患者様が尿道カテーテルを離脱しました。

排尿「動作」や排尿に関わる「機能」を評価すると、約8割の方が機能異常を有しており、退院までに8割の方がトイレ動作の介助を要しました。排尿に関するリハビリ、情報収集、トイレ介助には療

法士さんと看護師さんの介入が8割必要ということも分かりました。この結果は、すでに著名な国内の文献と同等の結果でした。

課題として、自己導尿の導入率が低いということも分かりました。自己導尿は、自分で尿道カテーテルを使用して排尿する手法です。自己導尿は、尿道カテーテルの挿入継続と比較して尿路感染症を低下させるだけでなく膀胱機能と生活の質を改善するという治療効果もあります。(※残念ながら病状によっては自己導尿から離脱できない方もいらっしゃいます。)自己導尿はおしっこがでないときの最後の手段ではなく、これから治療を前向きに展開していくための手法と説明し、1本でも多く「尿道カテーテル入れっぱなし」を減らすべく導入を進めていきたいと考えています。

最後に、チームメンバーについてです。最近、強化傾向です。チーム専任の看護師さんはさらに2名追加で学会公

認の講習を修了、あらたに作業療法士さんの増員がありました。昨年は発足1年目ということで病棟リンクナースの勉強会もさかんに行っていました。しかし、我々チームはまだ、排尿ケア2年生です。まだまだ未熟であることを自覚し、研鑽を積み、院外の勉強会、学会へ参加し、見聞を広めたいと考えています。関係各所の部長職の皆様にはご理解ご協力の程よろしくお願い致します。外で得た知識は、院内のマニュアルへ反映、雲海のごとく改訂し、患者様、そして一緒に働く皆様へ貢献できるように日々努力して参ります。これからも排尿ケアチームを何卒宜しくお願い致します。



入 職 者

①担当 ②専門とその紹介 ③出身大学 ④趣味

2月1日付

循環器内科 園田 健人

①月午前 火午前

②虚血性疾患を中心に循環器診療にあたっておりました。

多様な疾患が併存する現代ですから、総合的視点を大切にしています。専門外を問わず、お気軽に相談下さい。

③順天堂大学 順天堂医院 ↓ 順天堂静岡病院 ↓ 東取手病院

2月1日付

救急医療科 (研修医) 森 秀美

②筑波大学附属病院の研修医2年目の森と申します。救急科で2ヶ月間研修させていただきます。来年からは大学病院の放射線診療科を専攻する予定です。よろしくお願います。

③大分大学

④カメラ・水彩画・読書 ミッフィーとビールが好きです

2月1日付 医事情報部

事務 益子 香穂

一日でも早く仕事を覚え、患者様とご家族に寄り添った対応を心がけて参ります。

2月16日付

医事情報部

事務 小山 史美

皆様のお役に立てるように、日々業務に努めてまいります。



春秋園だより

少しずつ寒さがやわらぎ、春の気配を感じる季節になりました。春秋園では先日、無病息災と一年の健康を願い、節分の行事を行いました。

節分は、季節の分かれ目、という意味があり、昔はこの時期に、悪いもの（鬼）が来ると考えていたそうです。そこで豆を

まいて鬼を追い払い、福を呼び込む行事が生まれました。「鬼は外！ 福は内！」の掛け声には無病息災・健康祈願の意味があります。

節分行事当日は、職員が鬼役となり登場すると、驚いた表情を見せながらも、すぐに笑顔が広がりました。利用者様の元氣な掛け声と笑い声が施設内に響



き渡り、豆に見立てたボールを鬼へ向かって力強く投げつける方、優しく豆を渡そうとする方、

それぞれ個性あふれる場面が見られました。

行事のあとは、季節を感じられるおやつを楽しんで頂きました。おやつの際にも「豆まき

楽しかったね」「鬼は誰だったのだろう」「子供が小さいころを思い出すわ」との会話が聞かれました。

節分という昔ながらの行事が自然と会話を生み、思い出を語り合うきっかけにもなっていました。

行事を通して、身体を動かすだけでなく、季節の移り変わりを感じたり、昔の記憶を思い出すことが、心の活性にもつながる様子が伺えました。これからも、

ご利用者様が安心して過ごせる環境の中で、季節を感じられる行事や、ふれあいの時間を大切にしていければと思います。

皆様が健やかに、笑顔で過ごして頂けるよう、職員一同努めてまいります。

(春秋園ユニットスタッフ)

部署紹介

薬剤センター(病棟) 副主任 平野 貴法

当院では、入院から退院までを安心かつ安全に治療を受けて頂けるよう各病棟に担当の薬剤師を配置し、医師・看護師をはじめ多くの職種と連携して取り組んでおります。

入院して治療する場合、薬を使用しないことはまずありません。薬と身体、薬と薬の相性が良くないことがあるため、まず現在使用している薬や、薬・食物等の副作用・アレルギーの有無を確認しております。薬が開始となる場合には、ご本人やご家族に説明を行います。その後きちんと効果が出ているか、副作用が生じていないかも確認しております。また、薬を長く使用できるかも重要なポイントとなりますので、薬が飲み込みづらい、シートから取り出しにくい、自己注射薬のダイヤル数字が見づらいといったご本人の使用感も聞かせていただき、状況によって、お薬の変更も検討させていただいております。

医師や看護師に伝えられなかったこと、伝えにくいこと、その他ご要望等ございましたら気兼ねなくお申し付けください。

以上、簡単ではございますが薬剤センターの紹介をさせていただきました。お薬のことで何かございましたら、お気軽に薬剤センター窓口までお越しください。

Dr趣味リレー

整形外科 栗田 拓実

整形外科というスポーツを思い浮かべる方も多いと思いますが、例に漏れず私も水泳をしていました。

4歳の頃にはじめ、最初はプールの日は蕁麻疹がでるくらい嫌っていたようですが、小学2年生からいわゆる選手コースに入り、週に5〜6日泳ぐようになりました。大学6年生までの16年間は泳いでいない日の方が少なかったのではないかと思います。研修医になっても熱は冷めず、週に3回泳いで月に1回大会にでるような生活をしていました。

泳ぐだけで何が楽しいのかよく聞かれますが、私自身もよくわかりません。練習はとてハードですし、球技のように互いに協力することもできません。ただ自身を極限まで追い込んで0・01秒を削れた時の達成感は何にも代えたいものがあります。これからも月に1回泳いで年に1回大会に出る、くらいのペースで一生涯続けていきたいと思っています。



2026年1月30日、31日に、日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審しました。当院は、2005年に初回認定を受けてから、今回で5回目の受審となります。受審に向けた準備、そして対応にあたった職員の皆様、本当にお疲れ様でした。

受審の過程で、当院の強みを再確認した側面もあれば、一方で浮き彫りになった問題も少なからずあったかと思いますが、課題を明確にする貴重な機会となりました。受審

病院機能評価受審を終えて

総務課 係長 宇梶 栄治

2026年1月30日、31日に、日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審しました。当院は、2005年に初回認定を受けてから、今回で5回目の受審となります。受審に向けた準備、そして対応にあたった職員の皆様、本当にお疲れ様でした。

受審の過程で、当院の強みを再確認した側面もあれば、一方で浮き彫りになった問題も少なからずあったかと思いますが、課題を明確にする貴重な機会となりました。受審



編集だより

今年は寒暖差の激しい冬でしたが、春が近づき色とりどりの花が咲き始めました。新年度が始まり体調を崩しやすい時期ですが、軽い運動などでリフレッシュしながら健康的な毎日を送りたいものです。(E・N)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様以最善の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科、血管内治療科

【専門外来】

循環器疾患専門外来、ペースメーカー専門外来、不整脈外来、肝疾患専門外来、糖尿病専門外来、甲状腺専門外来、血液専門外来、ストーマ(人工肛門・人工膀胱)専門外来、リウマチ専門外来、関節専門外来(股・膝)、脊椎外来・足部外来、スポーツ外来、乳腺専門外来、小児神経外来、発達障害(自閉症・学習障害等)専門外来、小児心理外来、小児科免疫外来、小児科循環器外来、口腔機能外来、皮膚科レーザー外来、内視鏡科、心臓血管外科、そけいヘルニア外来、下肢静脈瘤外来、再建外来、女性泌尿器科外来

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

【関連施設】

- 総合健診センター Tel 029-873-4334
- 健康増進施設 スポーツリラククス Tel 029-874-8791
- 人工透析センター
- 読影センター
- 地域リハ・ステーション
- 介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
- ひたち野ステーションクリニック Tel 029-896-6200
- 特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

